

久喜市あゆみの郷 事業報告

久喜市の定める条例に基づき、関係法令を遵守し、社会福祉法人啓和会の理念と整合性を図りながら、運営規程に定める目的を達成するために以下の事業を実施しました。

1 利用状況と職員体制（平成 29 年 3 月 31 日）

（1）利用定員の充足

ア 生活介護	定員 15 名	現員 17 名	（男性 11 名 女性 6 名）
イ 就労継続支援 B 型	定員 15 名	現員 16 名	（男性 9 名 女性 7 名）

（2）利用者の状況

ア 療育手帳の所持状況

	㊤	A	B	C	なし	計
生活介護	9	3	4	0	1	17 人
継続 B 型	1	4	7	2	2	16 人
計	10	7	11	2	3	33 人

イ 障害程度区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	未判定	計
生活介護	0	0	5	3	7	2	0	17 人
継続 B 型	0	1	6	2	2	0	5	16 人
計	0	1	11	5	9	2	5	33 人

ウ 年齢分布

		10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～	平均
生活介護	男性	0	7	4	0	0	0	27.3 歳
	女性	0	3	0	1	0	2	39.8 歳
就労継続	男性	0	4	3	1	1	0	31.6 歳
	女性	0	3	0	2	2	0	38.3 歳
計		0	17	7	4	3	2	33.1 歳

エ 利用率の状況

㊦ 生活介護

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数	21	21	22	21	23	21	21	22	20	20	20	23	255 日
延利用者数	332	329	349	329	346	338	297	335	296	315	321	374	3,961 人
利用率	106	104	106	104	100	107	94.2	102	99	105	107	108	103.5%

(イ) 就労継続 B 型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	21	22	21	23	21	21	22	20	20	20	23	255日
延利用者数	263	269	289	283	278	292	286	292	259	268	278	305	3362人
利用率	83.5	85.3	87.2	89.8	80.9	92.7	90.8	88.5	80.9	89.3	92.7	88.4	87.5%

オ 職員体制

職 種	配置人数	備 考
施設長	1	相談支援業務兼務
主査サービス管理責任者	1	
職業指導員	1	就労継続支援 B 型（運転業務兼務）
目標工賃達成指導員	1	就労継続支援 B 型
生活支援員	7	生活介護支援：6名（1名 運転業務兼務） 就労継続支援 B 型：1名（運転業務兼務）
看護師	1	生活介護
事務員	1	

2 利用率の向上

- (1) 生活介護は、4月に特別支援学校卒業生1名が契約して17名、就労継続支援 B 型は7月に休職中の1名を契約して16名の契約を行いました。（両事業とも定員15名）
生活介護では、2か月以外の利用率は100%を超えた利用となりました。
- (2) 就労継続支援 B 型では、情緒面で課題を持つ人の対応を行いました。支援センターなど関係機関と連携しました。安定するまでには時間がかかりそうですが、あゆみの郷を拠点としている様子が見られるので今後も多角的な支援を継続して行っていきます。

3 生活介護・就労継続支援 B 型 共通事項

(1) 日常生活に関する支援

- ア 利用者自治会が充実しました。自分達で「考え」「話し合い」「決めて」「実行」する取り組みを行いました。担当職員2名をサポート役として配置し自治会で話し合われた意見や要望等の内容を職員会議で報告し要望の実現に向けて支援しました。
- イ 新たな部活動として、「ちくちくクラブ」（手芸）「登山部」が発足しました。「ちくちくクラブ」では、アクセサリなどを作り楽しんでいきます。ボランティア講師にアイデアを考えてもらい教えてもらっています。「登山部」では比較的登りやすい山にチャレンジしています。主に土曜開所時に実施しています。
- ウ グループ外出を3回、家族合同での日帰り旅行を1回実施しました。目的地については、いくつかの候補地から利用者に選択してもらい決定しました。また、家族合同による日帰り旅行については作業工賃から積み立てた年間総額金の範囲で決めてもらいました。自分達で働いて貯めたお金で旅行に出かける楽しみを理解することで「働く」ことへのモチベーションとなってくれればと思います。

(2) 健康管理に関する支援

- ア 健康診断（1回）と保菌検査（2回）を行いました。いずれも特に問題はありませんでした。今年度から健康診断は嘱託医の所属する医療機関で実施しました。健康診断と嘱託医巡回の連動が図れることになりました。
- イ 感染予防の一環として予防接種を推奨しました。家庭では受診することが難しい人も多いため、希望者には嘱託医の診察としてあゆみの郷で予防接種を受けられるようにしました。また、手洗い、うがいを励行したこともあり、インフルエンザに罹患した人は最小限に留めました。
- ウ 家族の承諾を得たうえで職員の同行を必要とする利用者には通院同行を行いました。正確な情報交換による支援の考え方や職員がいることで安心して診察を受けられることなど双方にとって必要な取り組みとなっています。

4 生活介護

(1) 日常生活支援

- ア 上手に食事ができず食べこぼしが目立つ利用者には、個人に合った食器の工夫や姿勢保持の介助などに着眼点を置いて支援しました。食事を口に運びやすくなったようで以前に比べると食べこぼす量も減ってきています。
- イ 行動障害のある人への支援については、関係機関で集まり個別の支援会議で再アセスメントを実施し、支援方針の見直しや具体的な支援方法の確認を行うなど連携の強化を図りました。

(2) 作業活動支援

- ア 集団での活動を中心としたグループと療育的でより個別性の支援が必要なグループに分かれて活動を提供しましたが、メンバーは固定することなく、その時の個人の状態に応じて柔軟に対応しました。
- イ 農耕作業による収穫した野菜を施設前に設置した無人販売所で販売しました。地域の方からも好評です。また、リサイクル作業によるアルミ缶回収では、地域の方が回収カゴに入れてくれました。毎週土日など過ぎると回収カゴがいっぱいになることも多くありました。
- ウ 工賃全体の支給状況については下表の通りです。

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
支 給 額	69,633 円	115,197 円	81,376 円	124,463 円	76,083 円	100,829 円
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
84,153 円	108,972 円	86,957 円	83,280 円	73,426 円	73,144 円	1,077,513 円

(3) 余暇支援

軽運動（レクリエーション）や水泳、買い物外出等を定期的に行いました。また、誕生月による外食は各月の誕生者で食べたいお店を選んで行きました。少人数で行くことが出来るのでゆっくりランチが楽しめるとのことで好評でした。

5 就労継続支援 B 型

(1) 社会生活支援

- ア グループホームへの体験利用を希望する利用者への支援を積極的に行いました。体験中は本

人が安心できるように随時様子伺いを行い、グループホームの職員と協働で適応が図れるように支援しました。

イ 発障協が主催する利用者部会に積極的に参加しました。部会では「権利擁護について」などを参加者で話し合い、自立に対する意識を学びました。

(2) 企業実習

ア 女性1名が実習先として久喜けいわで清掃作業と支援員補助の実習を行っています。他者と上手にコミュニケーションがとるのが苦手なのですが、久喜けいわや支援センターの職員の根気強い関わりで本人も成長しています。

イ 企業での就労を目指し実習を行ないました。仕事内容に適応できず就職には結びつきませんでした。

(3) 作業活動支援

ア 毎月の平均工賃は16,191円で昨年度と比べると3,869円の増でした。効率の良い内職作業を取り入れたことやきっちんこすもすの売上が収入増となりました。来年度は施設外就労を増やして行きたいと思っています

イ 毎月の工賃収入額は下表のとおりです。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
支給額	251,610円	259,452円	260,267円	216,798円	270,215円	280,410円
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
234,799円	204,143円	244,218円	204,985円	197,745円	210,449円	2,835,091円

6 地域交流

(1) 地域行事に参加し地域の方との交流の場としました。

行事名	開催日
鷲宮コミュニティまつり	平成28年5月15日
男と女(ひととひと)のつどい	平成28年6月25日
久喜特別支援学校PTAまつり	平成28年7月23日
鷲宮コスモスフェスタ	平成28年10月22日
県民のつどい	平成28年11月27日
鷲宮人権のつどい	平成28年12月10日
ホットハートフェスティバル	平成29年2月4日

(2) 第4回あゆみの郷まつりを開催しました。地元出身の和太鼓アーティストの演奏や公民館サークルがアトラクションに出演してくれるなど地域に密着した取り組みとなっています。当日は97名のボランティアに支えられて盛会となりました。来場者は約200名を超えました。

(3) 「あゆみだより」を年4回発行しました。公共施設を中心に設置してもらい施設のPRに努めました。

7 自主事業

(1) 送迎サービスを行っています。家族の都合等で休みがちだった人も安定して通えるようになりました。家族の高齢化などで家族での送迎が困難になってます。今年度は、17名が送迎サービ

スを利用しています。

- (2) 原則として月1回の土曜開所を行いました。余暇支援を中心とした活動を提供するため、地域の行事のある日に開所日を設定し地域に出掛けて楽しめるように行いました。
- (3) 日中一時の受け入れを行いました。これまで、実施日が水、土でしたが、他の曜日でもニーズがあったので、月～土に変更して利用しやすくしました。

8 その他

- (1) 実習生、ボランティアの受け入れについては次のとおりです。

ア 施設現場実習の受け入れ

期 間	所 属	人数	延べ日数
平成 28 年 5 月 16 日 ～平成 28 年 10 月 28 日の間 (各 4 日間)	共栄大学 埼玉工業大学 平成国際大学 聖学院大学 明星大学 津田塾大学 十文字大学 (介護等体験実習)	9	36 日間
平成 28 年 7 月 19 日 ～平成 29 年 2 月 27 日の間 (各 14 日間)	大宮こども専門学校 関東短期大学 (保育士実習)	5	70 日間
平成 28 年 8 月 17 日 ～平成 28 年 11 月 19 日の間 (各 25 日間)	東洋大学 (社会福祉士実習)	3	75 日間
平成 28 年 11 月 24 日 ～平成 28 年 11 月 29 日の間 (各 1 日間)	久喜市新任研修	4	2 日間
平成 29 年 2 月 24 日	学研スタディ (介護職員初任者研修)	1	1 日間

イ 進路体験実習の受け入れ

期 間	所 属	人数	延べ日数
平成 28 年 7 月 26 日 ～平成 28 年 7 月 29 日	宮代特別支援学校	1	3 日間
平成 28 年 9 月 7 日 ～平成 28 年 9 月 9 日	鷲宮西中学校	2	2 日間
平成 28 年 10 月 31 日 ～平成 28 年 11 月 4 日の間	宮代特別支援学校	1	3 日間
平成 28 年 11 月 29 日 ～平成 28 年 12 月 6 日の間	久喜特別支援学校	1	3 日間

ウ ボランティアの受け入れ

216回の受け入れを行い、延べ人数は672名（前年408名）でした。地元の方が中心で毎日の活動（作業等）支援、植栽や畑の管理等を応援してもらいました。職員の業務軽減にもつながることや、利用者は、ボランティアさんとの関りを楽しんでいます。

- (2) 計画相談事業所との連携に努めました。とりわけ、支援の困難性の高い人については個別支援会議を開催し、関係事業間で共通の課題認識を図り支援の対応性の統一と役割分担等を決定して良質な支援を目指して取り組みました。
- (3) 避難訓練を3回実施しました。想定は火災だけではなく、地震や竜巻などの災害も想定して実施しています。災害時の緊急連絡網の整備としてメールにて配信できるようにグループメールの作成を行い、試験送信を実施しました。

【重点事項】

1 災害危機管理体制の構築

災害時の緊急連絡網の整備としてメールにて配信できるようにグループメールを作成して試験送信を実施しました。設備としては、非常電源として発電機の購入を久喜市あゆみの郷保護者会の協力において平成30年までに整備予定です。

2 関係機関との連携

生活に課題のある人などの支援については、他法人事業所と個別支援会議などを協働で実施して行いました。結果、ネットワークによる支援が行う事が出来ました。

3 人材の育成

職員研修（OJT、OFF-JT）を強化して、資質の向上に努めました。内部研修を重点に支援の質の向上を目指して努力しました。日々の支援の在り方の見直しや意識の向上、専門性を高めるための支援スキルの獲得に努力しました。外部研修については下記の通りです。

研修名	主催者	日付	参加者
防火管理者研修	日本防火安全協会	平成28年5月10,11日	江森
サービス管理責任者研修、相談支援専門員研修（共通講義）	埼玉県障害者支援課	平成28年6月1,9日	山崎 江森 藤井
BCP（事業継続計画）研修	埼玉県社会福祉協議会	平成28年6月1,15日	岡本
新任職員研修	埼玉県発達障害福祉協会	平成28年6月6日	秋山
関東地区福祉協会種別代表者大会	関東地区福祉協会	平成28年7月14,15日	施設長 岡本
嚙下リハビリテーション初級研修	埼玉県社会福祉協議会	平成28年7月19日	池田
相談支援専門員初任者研修	埼玉県障害者支援課	平成28年8月5日,9月7,8日	山崎

サービス管理責任者研修 (生活介護、就労、地域生活)	埼玉県障害者支援課	平成 28 年 11 月～1 月	施設長 岡本 藤井 江森
アンガーマネジメント研修	埼玉県発達障害福祉協会	平成 29 年 2 月 23 日	進藤

4 虐待防止

職員への噛みつきなど激しい行動障害の利用者に対応した際に、不適切な支援となることがありました。日々の支援技術の未熟さが大きな要因と考えられます。職員全体で問題を共有して、改善策を検討、実施すると共に、サービス調整会議など関係機関との会議や、研修などを通して、適切な支援スキルと意識の向上に取り組みました。